

---

第 62 報 平成 26 年 7 月 18 日

東日本大震災 災害復旧資材供給情報

## 復旧・復興工事に関わる 建設資材等の需給動向

一般財団法人 経済調査会

---

### 【生コンクリート 宮古】

宮古地区の生コンクリートは、建築標準物(21-18-20)で m<sup>3</sup> 当たり 2 万 2,750 円と前月比 1,500 円上伸した。販売側は、主に海送品骨材価格の高騰を理由に 4 月以降出荷分からの値上げを表明し、価格交渉が続けられていたが、増大する需要を見据え安定供給を最優先する需要家側がこれを受け入れた展開となった。需給ひっ迫状況が当面継続するものと見られるだけに、先行き、強含み横ばいで推移する見通し。

### 【コンクリート用骨材 釜石】

釜石地区のコンクリート用骨材は、旺盛な生コン需要を背景に値上がりしている。砂・荒目(洗い)が m<sup>3</sup> 当たり 3,700 円と前月比 300 円、碎石 20~5mm が同 3,600 円と前月比 200 円それぞれ上伸した。燃料価格の高止まりから製造・運搬コストが増大、メーカー側が要請してきた値上げがここにきて浸透した状況となっている。生コン向け需要は引き続き好調と見込まれており、先行き、砂・碎石とも強含み横ばいで推移する公算が大きい。

### 【再生クラッシュラン 釜石】

釜石地区の再生クラッシュラン 40~0mm は m<sup>3</sup> 当たり 2,200 円と前月比 200 円上伸した。当地区では復興・復旧工事の本格化で道路工事が増加しており、需給はひっ迫した状況が続いている。メーカー側は、ダンプ不足や軽油の高騰を理由に値上げを表明していたが、工事の進捗を優先する多くの需要家が容認したことから価格が上伸した。先行き、強含み横ばいで推移する見通し。

### 【鉄鋼製品、生コン、アスファルト混合物工場の稼動状況について】

当会ホームページの「災害復旧資材の供給情報提供窓口」では、被災地への資材供給に関わる鉄鋼製品、生コン、アスファルト混合物各工場の稼動状況が一目で分かる地図を掲載しています。稼動状況に変更があれば、随時、情報を更新してまいりますので、併せてご覧ください。

※ 災害復旧資材の供給情報窓口 <http://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/index.php>

【問い合わせ先】 一般財団法人 経済調査会 土木第一部・土木第二部  
TEL : 03-3543-1471 FAX : 03-3543-2182

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
生コンクリート  建築標準物 (21-18-20)  単位:m3 (P78~)	青森県	八戸	2013年 6月号	400円/m3上伸 1万3,300円	7月10日		均衡	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2014年 8月号	1,500円/m3上伸 2万2,750円	7月10日	原材料価格、特に海送品の骨材価格が船代の高騰を理由に上昇。販売側はこれを受け、4月以降の出荷分からm3当たり1,500円の値上げを打ち出し交渉を続けていた。値引き交渉は困難との判断に加え、安定供給を最優先する需要家側が今後の使用数量を見据えた上で今回の値上げを受け入れ、m3当たり1,500円の上伸となった。	ひっ迫	強含み横ばい
		大船渡	2013年 12月号	1,500円/m3上伸 1万5,900円	7月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		久慈	2013年 8月号	1,200円/m3上伸 1万4,700円	7月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2014年 8月号	1,000円/m3上伸 1万7,700円	7月10日	骨材調達コスト、運搬コスト上昇を背景にメーカー側では、4月よりm3当たり1,000円の値上げを打ち出した。需給のひっ迫状況は依然として変わらず、販売側の新価格が浸透した。旺盛な需要の後押しを受け、先行きも強含みで推移する見通し。	ひっ迫	強含み
	宮城県	仙台	2013年 7月号	2,000円/m3上伸 1万4,000円	7月10日		ややひっ迫	横ばい
		石巻	2013年 8月号	900円/m3上伸 1万5,900円	7月10日		ややひっ迫	横ばい
		石巻(雄勝)	2013年 8月号	900円/m3上伸 1万7,700円	7月10日		ややひっ迫	横ばい
		気仙沼	2013年 12月号	1,000円/m3上伸 1万6,700円	7月10日		ややひっ迫	横ばい
		亘理	2013年 8月号	2,000円/m3上昇 1万7,500円	7月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		松島	2013年 8月号	900円/m3上伸 1万5,900円	7月10日		ややひっ迫	横ばい
	福島県	南三陸	2013年 12月号	1,000円/m3上伸 1万6,700円	7月10日		ややひっ迫	横ばい
		いわき	2014年 4月号	1,000円/m3上伸 1万3,000円	7月10日		ひっ迫	横ばい
		南相馬	2013年 6月号	2,000円/m3上伸 1万5,000円	7月10日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
コンクリート用 砂  荒目(洗い) 単位:m3 (P170~)  ※南相馬は 細目(洗い) の価格を掲載	青森県	八戸	2014年 3月号	300円/m3上伸 3,800円	7月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2013年 3月号	300円/m3上伸 4,300円	7月10日		ひっ迫	強含み
		大船渡	2012年 8月号	「-」表示	7月10日		-	-
		久慈	2013年 8月号	1,000円/m3上伸 4,500円	7月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2014年 8月号	300円/m3上伸 3,700円	7月10日	生コン需要が旺盛であるため、生コン業者からの引き合いは増加している。製造コスト、運搬コスト増を背景にしたメーカー側の値上げが浸透し、m3当たり300円の上伸。需給ひっ迫の状況は依然として変わらず、先行きも強含み横ばいで推移する公算が大きい。	ひっ迫	強含み横ばい
	宮城県	仙台	2014年 2月号	300円/m3上伸 3,400円	7月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2014年 2月号	100円/m3上伸 3,600円	7月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2014年 2月号	100円/m3上伸 4,200円	7月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2014年 2月号	300円/m3上伸 5,200円	7月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2014年 2月号	100円/m3上伸 3,400円	7月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		松島	2014年 2月号	200円/m3上伸 3,200円	7月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2014年 2月号	300円/m3上伸 4,800円	7月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2014年 6月号	300円/m3上伸 3,950円	7月10日		ひっ迫	強含み
		南相馬	2013年 10月号	300円/m3上伸 3,900円	7月10日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
コンクリート用 砕石  20～5mm  単位:m3  (P170～)  ※宮古は 砂利25mm以下 の価格を掲載	青森県	八戸	2013年 8月号	200円/m3上伸 3,900円	7月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2013年 3月号	300円/m3上伸 4,200円	7月10日		ひっ迫	強含み
		大船渡	2012年 11月号	200円/m3上伸 3,600円	7月10日		ひっ迫	強含み
		久慈	2013年 8月号	200円/m3上伸 3,500円	7月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2014年 8月号	200円/m3上伸 3,600円	7月10日	生コン需要が旺盛であるため、生コン業者からの引き合いは増加している。製造コスト、運搬コスト増を背景としたメーカー側の値上げが浸透し、m3当たり200円の上伸。需給ひっ迫の状況は依然として変わらず、先行き、強含み横ばいで推移する公算が大きい。	ややひっ迫	強含み横ばい
	宮城県	仙台	2014年 2月号	300円/m3上伸 3,900円	7月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2014年 1月号	100円/m3上伸 3,400円	7月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2014年 1月号	100円/m3上伸 3,900円	7月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2013年 8月号	100円/m3上伸 4,000円	7月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2014年 2月号	100円/m3上伸 3,800円	7月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		松島	2014年 2月号	300円/m3上伸 4,200円	7月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2014年 1月号	200円/m3上伸 3,800円	7月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2014年 6月号	300円/m3上伸 3,950円	7月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		南相馬	2013年 10月号	300円/m3上伸 3,800円	7月10日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
再生 クラッシュヤラン 40~0mm 単位:m3 (P170~)	青森県	八戸	2013年 4月号	100円/m3上伸 1,800円	7月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2012年 5月号	300円/m3上伸 2,200円	7月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		大船渡	2012年 11月号	200円/m3上伸 2,100円	7月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		久慈	—	2,300円	7月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2014年 8月号	200円/m3上伸 2,200円	7月10日	管内では道路工事が増加しており、需給はひっ迫した状況が続いている。運搬コストの増大によるメーカー側の値上げを容認する需要家が多く、価格はm3当たり200円上昇した。先行き、強含み横ばいで推移する見通し。	ひっ迫	強含み横ばい
	宮城県	仙台	2014年 1月号	200円/m3上伸 2,200円	7月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2014年 1月号	100円/m3上伸 2,300円	7月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2014年 1月号	100円/m3上伸 2,800円	7月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2013年 8月号	100円/m3上伸 2,300円	7月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2013年 8月号	200円/m3上伸 2,100円	7月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		松島	2014年 1月号	200円/m3上伸 2,400円	7月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2013年 8月号	200円/m3上伸 2,600円	7月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2014年 6月号	100円/m3上伸 2,150円	7月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		南相馬	2013年 3月号	300円/m3上伸 2,200円	7月10日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
アスファルト 混合物 密粒度(13) 単位:t (P298~)	青森県	八戸	2013年 9月号	700円/t上伸 1万2,800円	7月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2014年 4月号	800円/t上伸 1万5,600円	7月10日		ややひっ迫	横ばい
		大船渡	2014年 4月号	800円/t上伸 1万4,800円	7月10日		均衡	横ばい
		久慈	2014年 4月号	600円/t上伸 1万4,900円	7月10日		ややひっ迫	横ばい
		釜石	2014年 4月号	800円/t上伸 1万4,900円	7月10日		均衡	横ばい
	宮城県	仙台	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,200円	7月10日		均衡	横ばい
		石巻	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,500円	7月10日		ややひっ迫	横ばい
		石巻(雄勝)	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,800円	7月10日		ややひっ迫	横ばい
		気仙沼	2014年 2月号	300円/t上伸 1万3,200円	7月10日		均衡	横ばい
		亘理	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,200円	7月10日		均衡	横ばい
		松島	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,300円	7月10日		均衡	横ばい
		南三陸	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,700円	7月10日		均衡	横ばい
	福島県	いわき	2014年 4月号	800円/t上伸 1万3,100円	7月10日		均衡	横ばい
		南相馬	2013年 12月号	700円/t上伸 1万3,150円	7月10日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
共通資材	鋼材	9 ～ 11	鋼矢板・鋼管杭	7月11日	鋼矢板については、季節的要因により一時期のタイト感は見られないが、秋口に向け需要の増加が見込まれている。一方、鋼管杭、鋼管矢板は、多くの引き合いがあり、需給は引き締まっている。輸送コストの上昇を背景に、メーカー側は鋼管杭の販価を引き上げたい意向だが、足元は安値の払しょくにとどまっている。鋼管杭については、今後も旺盛な需要が見込まれており、先行き、強含み。	ややひっ迫	強含み
		18 ～ 21	異形棒鋼	7月11日	鉄屑価格が今後は軟調に推移する公算が大きいとみる需要家側に材料手配を急ぐ様子はなく、足元の需要は盛り上がり欠いている。秋口以降の需要は底堅いと見られていることから、製販共に数量確保に走る様子はなく、市況維持を優先する構え。先行き、横ばい推移の見通し。	均衡	横ばい
	セメント	72	セメント(バラ)	7月11日	仙台地区以外の都市では現在もメーカーは需要家側と価格交渉を継続している。一部のメーカーにおける価格交渉の開始が遅れたことで需要家側の抵抗を勢いつけていた。しかし、各社とも足並みが揃ったことで、メーカーは売り腰を強めており、値上げの理解を需要家に求めている。先行き、強含み横ばいで推移する見通し。	ややひっ迫	強含み横ばい
	型枠材	209	コンクリート 型枠用合板	7月10日	需要は年度明け以降停滞気味で、市中の需給バランスは緩め傾向にある。産地価格の高止まりは続いているものの、在庫調整や売上確保に向けた安値販売が見られるようになってきている。全国的にも型枠工事が本格化するの夏場以降とみられ、需給の緩和はしばらく続きそう。先行き、弱含み推移する見通し。	やや緩和	弱含み
	木材	224 ～ 227	仮設・土木用 木材	7月10日	沿岸部では、海岸堤防(防潮堤)向けにまとまった数量の引き合いが続いている。品薄状態は一服し、現在入荷は順調。価格は高止まりしており、今後も需要が見込まれることから、先行きは横ばいで推移する見込み。	均衡	横ばい
		228 ～ 235	一般建築用 木材	7月10日	消費税増税後の反動減による影響もあり、引き合いは盛り上がり欠き、需要家側では当用買いに徹している。しかし、販売側の売り腰は強く、値下げには応じない構えを見せており、当面横ばいで推移する見込み。	均衡	横ばい



東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
共通資材	石油製品	248 ～ 250	石油製品	7月10日	中東情勢の影響から原油価格が上昇、元売卸価格が引き上げられたことにより流通側が売り腰を強めたため、販売価格は上昇した。足元、元売卸価格が高値で据え置かれる中、流通側は収支の改善のために、さらに売り腰を強める公算が大きい。先行き、強含み。	ややひっ迫	強含み
	仮設関連資材	252(販売) 282(リース)	仮設足場	7月10日	官需・民需とも発注が好調でリース材の稼働率は好調に推移している。リースの稼働率が好調なことから販売需要も増加している。リース、販売とも需要は増加基調にあるものの需給は均衡しており、リース料金・販売に価格変動はみられない。先行き、横ばいで推移する見通し。	均衡	横ばい
		264 ～ 270	建設機械器具 賃貸料金	7月11日	東北地区では防潮堤の築造、河川改修等での引き合いが中心。運搬機械を中心に堅調な推移で、当面、現行水準を横ばいで模様眺めの公算が高い。	均衡	横ばい
	各種 賃貸料金	271 ～ 281	仮設鋼材 賃貸料金	7月11日	【鋼矢板・H形鋼・鋼製山留材・鋼製覆工板】 震災復興工事関連の需要は計画の見直しなどで当初の見込みより遅れているが、仮設鋼材の稼働率は高水準を維持している。特に鋼製覆工板を中心に需給はひっ迫しており、鋼矢板、H形鋼に関しても一部サイズ、長さで歯抜けが生じており、急な引き合いには対応出来ない場合もみられる。母材となる鋼材価格が高止まりしているため、リース業者各社は見積価格を引き上げ、安値受注を回避している。需要家側は抵抗しているが、需給ひっ迫の中、手配を優先しているため賃料は高止まりしている。東北、関東を中心に今後も大きな需要が見込まれており、先行き、強含み。  【敷き鉄板】 東北地区は旺盛な復興関連需要を背景に引き合いは好調。一部では供給難や供給遅れが生じるといった事例も散見される。一方、在庫保有量が多い関東地区も需要は底堅く、リース業者各社は、在庫を比較的引き合いの少ない西日本から東日本にシフトしている。需給が引き締まった状況の中、各社、見積価格を引き上げて安値受注を回避している。需要家側は抵抗しているが、需給ひっ迫の中、手配を優先しており賃料は高止まりしている。東北、関東を中心に今後も高い需要が見込まれ、先行き、強含み。	ひっ迫	強含み



東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
土木資材	舗装用材	299	ストレートアスファルト	7月14日	東北地区における復興関連工事向け出荷が一服し、需要の伸びは縮小傾向にあるが、被災3県における混合物製造量は震災前の1.5～2倍の高水準が続き堅調に推移。一方、全国のス・アス需要は前年並みから若干減少しており、供給そのものに問題は生じていない。 イラク情勢の悪化に伴い、中東産原油価格にも影響が出始めている。今後、ス・アス価格は強含み横ばいで推移する見通し。	均衡	強含み横ばい
建築資材	内外装材	576	針葉樹 構造用合板	7月10日	3カ月連続生産量が出荷量を上回ったことにより、メーカーの在庫量は大幅に増加している。需給環境が緩和傾向にあり、需要家側の値下げ要求が強まりつつあるが、メーカー側が減産を打ち出しており、需給は次第に引き締まる見込み。先行き、弱含み横ばいで推移する見通し。	やや緩和	弱含み横ばい
電気設備資材	電線・ケーブル	612 ～ 613	600V 架橋ポリエチレン 絶縁ビニル シースケーブル(CV)	7月14日	足元の復興関連需要は、依然として土木関係が中心で、電線・ケーブルの荷動きについては堅調とはいえ小規模案件が多い。本格的な復興需要の見通しが立たない中、新年度から荷動きも精彩を欠いており、メーカーでは平常どおりの生産体制となっている。供給体制についても、現時点では問題なく、平常どおりの供給が可能。	均衡	横ばい
機械設備資材	配管材	782 ～ 783	硬質ポリ塩化 ビニル管	7月11日	官需では下水道関連および津波の塩害が残る農地関連の復旧工事が始まった他、一部で公営住宅等建築関連の荷動きがあるものの、震災復興関連の需要が価格動向へ影響するまでには至っていない。メーカー側は昨年春に続き今春からさらなる値上げを打ち出しており、採算改善の動きを強めているが、全国的には荷動きが鈍く、値上げは流通末端まで浸透していない。供給体制そのものに支障はみられない。	均衡	横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な工種の概況 市場単価(季刊「土木施工単価」「建築施工単価」掲載工種)

◆季刊「土木施工単価」

分類	工種	掲載ページ	確認日	市場動向・概況	先行き	
					需給動向	価格動向
土木工事 市場単価	鉄筋工 (手間のみ)	3 ～ 9	7月10日	被災三県(岩手、宮城、福島)の土木系鉄筋工事需要は、復興工事を中心に堅調に推移しているが、一時期の繁忙な状況は落ち着きを見せている。一方、鉄筋工の慢性的な労務不足は解消されていない。 専門工事業者側では、値上げ要請を緩める姿勢はなく、第二四半期に地方自治体が大型発注工事を複数予定していることから現在は端境期とみている。交渉姿勢は強く、先行き、強含みで推移する見通し。	ややひっ迫	強含み
港湾工事 市場単価	鉄筋工 (手間のみ)	442 ～ 445	7月10日	被災三県(岩手、宮城、福島)の港湾工事は、県など自治体発注も含めて、引き続き復旧・復興関連工事が進められているが、新年度に入り、港湾における工事発注量が本格化していないことから鉄筋工については今のところ、落ち着きを見せている。 ただし、内陸部の建築および土木工事ともに慢性的な労務不足の解消には至っておらず、今後、工事発注量が増加する中、再び鉄筋工、建設機械、資材不足の表面化が懸念されることから、強含みで推移する見通し。	ややひっ迫	強含み
	型枠工 (材工共)	450 ～ 453	7月10日	被災三県(岩手、宮城、福島)では、昨年度末に県等自治体を含め復旧工事を中心とした港湾工事が複数件発注されているものの、工事本格化には至っていないこともあり、現状では型枠工不足は落ち着きを見せている。 ただし、港湾工事業者側では、今後の内陸部を含めた工事発注量次第では再び労務不足になるとの見方が強く、市況形成は専門工事業者側が主導権を握っている。先行き、強含み推移の見通し。	ややひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な工種の概況 市場単価(季刊「土木施工単価」「建築施工単価」掲載工種)

◆季刊「建築施工単価」

分類	工種	掲載ページ	確認日	市場動向・概況	先行き	
					需給動向	価格動向
建築工事 市場単価	鉄筋工事 (手間のみ)	10 ~ 13	7月10日	沿岸部の水産加工場等の施設や、内陸部の復興住宅等の工事が本格化しているほか、オフィスビルや住居向け物件も見られる。 工期や工程の遅れが常態化しており、現場の進捗停滞から職人の稼働に少し落ち着きが見られた場面もあったが、ここにきて需給はひっ迫の度合いを強めている。隣接県等からの応援に頼らざるを得ない状況に変化はなく、職人不足が解消される見込みは立っていない。引き続き強含みで推移する公算が大きい。	ひっ迫	強含み
	型枠工事 (材工共)	18 ~ 21	7月10日	沿岸地域の水産加工場や、内陸部の復興公営住宅等の工事が本格化しているのに加え、住居・オフィスビル等の物件も継続的に見られる。 慢性的な職人不足は続いているものの、年度明け以降の型枠工事需要にやや一服感が見られ、労務需給のタイト感はやや改善傾向にある。しかし、型枠工事が本格化する夏場以降、労務需給は再びひっ迫するものとみられ、専門工事業者側の値上げ要求が弱まる気配はない。先行き、強含みで推移する見通し。	ひっ迫	強含み